

第2回ワークショップの意見まとめ(班別の整理)《 上部空間等をどのような場所にしていきたいですか その場所には、どのような機能が必要ですか》

班	上部空間等をどのような場所にしていきたいですか		その場所には、どのような機能が必要ですか		シール投票
1	野川を中心とした癒しの地域(心が温まる地)【1】		木が多く散策できる公園機能【4】	・緩衝機能、緑化【1】 ・散策できる機能(次大夫堀公園まで連続)	6
	人が道路に優先する地域【1】		いろいろな手段で安全に通行できる機能	・交通安全機能 ・歩行者、自転車、乳母車、シニアカーが通行できる機能	1
	防災、外環道災害対応が最も進んだ地域【1】		地域の防災・外環道災害対応の機能【2】	・避難場所機能【2】 ・外環での災害に対する救急対応機能 ・一般道(多摩堤通り)と外環の出入り機能 ・防災備蓄、資材保管機能【1】	6
	子どもから高齢者までが暮らしやすい地区		誰もが暮らしやすくなるような福祉機能【4】	・福祉機能(障害者、子ども、高齢者など) 福祉施設等があれば道路幅員等も考えないといけない	4
2	前提	<ul style="list-style-type: none"> ・外環道は、地元住民にとってはあくまで迷惑 ・上部空間等利用は、近隣住民の迷惑を軽減させるため、騒音や排気ガス、目障りなものを軽減させるためのもの ・誰の為に上部空間をつくるのか ・なぜ上部空間を利用するのか理由に整合させるもの 			
	野川の水害のための防災・災害時の拠点	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時のための資材置き場としてほしい【1】 ・世田谷区の防災拠点の一角にしたい 防災倉庫 ・太陽光発電パネルを並べる 		<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民のための防災拠点(小規模、地域住民が3日間避難可能)【7】 ・樹林地に避難する【2】 ・何も無い空間こそ防災 ・備蓄倉庫は欲しい ・野川の川底を下げる 	10
	常緑高木・武蔵野の原風景となる場所	<ul style="list-style-type: none"> ・昔の原風景を取り戻す ・残地も含めて緑地を増やす ・緑地帯はグリーンベルトと分担し、なるべく人が集い、交流する場所にしたい ・緑地は低木も希望する ・光害(ヘッドライト)や大気汚染防止の最後の手段が植栽(高木)である。他の施設はなしとしてほしい 		<ul style="list-style-type: none"> ・常緑高木 ・武蔵野の原風景【7】 ススキ、ヒバリ、秋の虫、コオロギ、ススキ ・低木、野芝 ・暗い、草地多い。草だらけで通行が出来ないくらいなので、しっかりと管理をしてほしい 	7
	交流	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会の集会所がほしい ・コミュニティの場がほしい ・利用方法は、今出すのではなく後々変更できるようにする(子ども向けの利用、中年間の利用、老人向けの利用) ・年配者も子ども連れも憩える場所にしたい ・若者が集えるステーション ・社会的機能を持ち人気、活発のある場所にしたい。成城と二子玉川の間拠点になるようにしたい 		<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民と他地区の方々との交流(農、自然)【1】 ・幼稚園のイモ掘り、花を見に行かれる花畑【2】 ・農とのふれあい ・活気のある場所、社会的機能 ・若い人が集まる ・渋谷や下北沢とは違う ・平日も人が集まる ・老人の方が利用する花だん等 	3
				・喜多見大橋付近に老人福祉施設を【4】	4

下線はシール投票の対象項目、【 】はシール投票数

班	上部空間等をどのような場所にしていきたいですか		その場所には、どのような機能が必要ですか		シール投票
3	みどり、安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・高木の常緑樹をたくさん植える（排ガス浄化やPM2.5 飛来防止） ・国分寺崖線から出る流れを利用し、自然を感じられる地域にする ・子どもたちや高齢者にとって安全な場所 ・緑豊かで、地域住民限定で、集ったり、散歩したり、体を動かしたり、DIYものづくりしたり、リラックスできる空間 ・犯罪がない安全な場所づくりにもつながる ・緑と水と農の風景など、喜多見の良さを忘れない場所 	みどり・防音【4】	・高木（音の低減）	15
			みどり系【11】	<ul style="list-style-type: none"> ・みどり豊かな環境 ・次大夫堀公園との空間的つながり ・公共集会所 連携 ・公園 西洋式ドッグラン ・スタジオ 高齢者、若者が体を動かす ・緑の公園 	
			歴史	・周辺（喜多見、大蔵、宇奈根）の歴史の保存と継承	2
			安全・安心、クリーン【2】	<ul style="list-style-type: none"> ・木質のぬくもりある施設 ・手の込んだクリーンな場所 ・高架下を清潔に個性的に 無味乾燥で怖い場所をどう変えるか 	
	防災	・（高架下に）備蓄倉庫など			
連携(空間)	・次大夫堀公園と一体になった施設や環境の整備が必要	交通・安全 ユニバーサルデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、幼児まで交通弱者が動く助けになる施策ができないか ・シニアカーの通行、自転車道 ・自転車置場【2】 	2	
つながり系(人)交流	<ul style="list-style-type: none"> ・会議室を兼ねた集会場 ・診療所、保健所 ・公園 ・地域住民の利用、利便性を優先する施設 外環道ができることによりもっとも犠牲となり貢献するのは地域住民であり、その対価を考えてほしい 	つながり系【7】 子どもとのつながり (幅広い世代とのつながり)	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが自由に遊べる広場。周囲に樹木を植える ・地域住民の集会場（談話室、喫茶、遊戯室、会議室、展示物を兼ねる施設） ・多目的施設 ・遊び場・運動施設 ・木質を生かした建築（中は木の家具） 	7	
4	樹木の多い緑の空間	<ul style="list-style-type: none"> ・ジャンクションという大迷惑施設を喜多見の原風景にとけこませるために、全て緑でカバーさせたい ・機能補償道路の側面に樹木を植える ・国分寺崖線と外環道の間について、高速道路沿いは高木常緑樹、野川沿いや機能補償道路沿いは、春は桜、秋は紅葉と地域の方々の気持ちをなぐさめるような植栽とする。高木常緑樹はPM2.5等の浄化に大変良いと聞いている。 	緑の多い空間	<ul style="list-style-type: none"> ・コンクリートを緑で隠す ・環境にやさしい機能 ・みどりのお山、樹木【6】 ・野川沿いの桜【4】 	10
	区民の憩いの場【1】	<ul style="list-style-type: none"> ・区民の憩いの場（桜並木、梨園、いちご園、パーベキュー広場） ・野川沿いに遊歩道をつくる 	交流機能(自治会周辺住民)・憩いの場	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい広場 ・コミュニティ施設、防災倉庫、展示施設（歴史） ・古代から江戸、土器も出る、常設展示 ・喜多見上部自治会が利用できる自治会事務所と防災倉庫 ・コミュニティ、多目的施設（自治会交流）(料金所のふたかけ)【10】 	11
	人々のふれあう交流の場	<ul style="list-style-type: none"> ・バス停を作る（多摩堤通りから引き込む）交通安全、人のふれあい ・多目的施設を上部空間のエリア内に建設 人々の交流を生む ・外環道整備による地域の断絶の観点から、地域コミュニティの場（防災等） 		<ul style="list-style-type: none"> ・福祉系の施設（喜多見大橋付近、野川沿いの土地は区が買い取る）【3】 	

下線はシール投票の対象項目、【 】はシール投票数

班	上部空間等をどのような場所にしていきたいですか		その場所には、どのような機能が必要ですか		シール投票
	安全、安心なまち	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者も暮らすまち ・野川の洪水からの安全性（調整池） 	安心、安心なまち	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉系の場所は喜多見7丁目、野川、多摩堤通り沿いに ・検討区域をもっと広げては 北西方向 ・今回の検討範囲の周辺についても、区が土地を買収し公園等の緑地に ・調整池機能（広場）[4] 	4
5	広域交流のある場所	<ul style="list-style-type: none"> ・都内でまねな道の駅を設け、緑など世田谷の資源を地区外の人たちにも示したい ・若い人を呼び込みたい（たとえばマラソン大会など） ・地域の農家と連携したい 	道の駅の機能	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅 [4] 	4
	防災	<ul style="list-style-type: none"> ・安全な街づくり（防災） ・災害時に、自治会員の情報センターとなる場所 	安全機能	<ul style="list-style-type: none"> ・広い意味での安全機能（バリアフリー化など） ・災害時における様々な防災情報の集約・提供機能 ・防災情報提供センター [4] 	4
	交流できる場所	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、子どもにやさしいまち ・市民交流と地域貢献の場 ・高齢者社会を想定した老人と地域の子どもたちとの交流の場 ・地区会館に不足している機能（若い人たちも集まれる場など） ・ワンルームマンションに住む若者の集まれる場所 ・コミュニティのある場所 	コミュニティ・交流機能	<ul style="list-style-type: none"> ・交流機能（施設が「壁」にならないような配慮が必要）[3] ・地域の子どもや高齢者が交流できる機能 ・地域の人々が気軽に集まれる機能 ・若者を含めて地域の人々が幅広く利用できる機能 ・喜多見上部自治会の集会施設（現在の施設の利用が継続できない可能性がある）[6] 	9
	歴史などを伝える場所	<ul style="list-style-type: none"> ・喜多見の郷土や歴史の展示・発表 		<ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設をつくるのならば、北の方にずらす [3] 	3
				<ul style="list-style-type: none"> ・郷土の歴史を展示する機能 	
				<ul style="list-style-type: none"> ・学校の校庭が狭いので、何らかの利用を考える [1] 	1
	今までの環境が守られる場所	<ul style="list-style-type: none"> ・水とみどりの豊かな場所（特に野川や国分寺崖線からの湧水など水を生かした場所） ・国分寺崖線や次大夫堀公園と一体となった場所 ・外環の影響を防ぐ緑（樹木、高木等が先ずは優先だと思う） ・環境観測のための施設 	公園緑地機能	<ul style="list-style-type: none"> ・野川沿いの上部空間を公園緑地として一体的に使い、砧公園までみどりの帯を連続させる [4] ・野川や国分寺崖線からの湧水など水の流れを生かした緑地機能 	4
		環境保全等機能	<ul style="list-style-type: none"> ・環境を守るため、環境施設帯に高木などを植樹する[3] ・騒音などの観測機能 	3	

下線はシール投票の対象項目、【 】はシール投票数

第2回ワークショップの意見まとめ（テーマ・キャッチコピー）

1班	上部空間等を使って、	な場所をつくる！
2班	上部空間等を使って、	な場所をつくる！
3班	上部空間等を使って、 <u>緑と水と歴史あるコミュニティと共生した後世に残る砧村らしい先進的</u>	な場所をつくる！
4班	上部空間等を使って、	な場所をつくる！
5班	上部空間等を使って、 <u>水、緑豊かで交流・安全・安心</u>	な場所をつくる！

第2回ワークショップの意見まとめ（利用区分別の整理）《 上部空間等をどのような場所にしていきたいですか その場所には、どのような機能が必要ですか》

大区分	班	上部空間等をどのような場所にしていきたいですか	その場所には、どのような機能が必要ですか	シール投票		
みどり・環境系【45】	1	野川を中心とした癒しの地域(心が温まる地)【1】	木が多く散策できる公園機能【4】	・緩衝機能、緑化【1】 ・散策できる機能（次大夫堀公園まで連続）	6	
	2	常緑高木・武蔵野の原風景となる場所		・常緑高木 ・武蔵野の原風景【7】 ススキ、ヒバリ、秋の虫、コオロギ、ススキ ・低木、野芝 暗い、草地多い。草だらけで通行が出来ないくらいなので、しっかりと管理をしてほしい	7	
	3	みどり、安全・安心	・高木の常緑樹をたくさん植える（排ガス浄化やPM2.5 飛来防止） ・国分寺崖線から出る流れを利用し自然を感じられる地域にする ・子どもたちや高齢者にとって安全な場所 ・緑豊かで、地域住民限定で、集ったり、散歩したり、体を動かしたり、DIYものづくりしたり、リラックスできる空間 犯罪がない安全な場所づくりにもつながる ・緑と水と農の風景など、喜多見の良さを忘れない場所	みどり・防音【4】	・高木（音の低減）	15
			みどり系【11】	・みどり豊かな環境 ・次大夫堀公園との空間的つながり ・公共集会所 連携 ・公園 西洋式ドッグラン ・スタジオ 高齢者、若者が体を動かす ・緑の公園		
	4	樹木の多い緑の空間	・ジャンクションという大迷惑施設を喜多見の原風景にとけこませるために、全て緑でカバーさせたい ・機能補償道路の側面に樹木を植える ・国分寺崖線と外環道の間について、高速道路沿いは高木常緑樹、野川沿いや機能補償道路沿いは、春は桜、秋は紅葉と地域の方々の気持ちをなぐさめるような植栽とする。高木常緑樹はPM2.5等の浄化に大変良いと聞いている。	緑の多い空間	・コンクリートを緑で隠す ・環境にやさしい機能 ・みどりのお山、樹木【6】 ・野川沿いの桜【4】	10
5	今までの環境が守られる場所	・水とみどりの豊かな場所（特に野川や国分寺崖線からの湧水など水を生かした場所） ・国分寺崖線や次大夫堀公園と一体となった場所 ・外環の影響を防ぐ緑（樹木、高木等が先ずは優先だと思う） ・環境観測のための施設	公園緑地機能	・野川沿いの上部空間を公園緑地として一体的に使い、砧公園までみどりの帯を連続させる【4】 ・野川や国分寺崖線からの湧水など水の流れを生かした緑地機能	4	
			環境保全等機能	・環境を守るため、環境施設帯に高木などを植樹する【3】 ・騒音などの観測機能	3	
交流系【34】	2	交流		・地域住民と他地区の方々との交流（農、自然）【1】 ・幼稚園のイモ掘り、花を見に行かれる花畑【2】 ・農とのふれあい ・活気のある場所、社会的機能 ・若い人が集まる ・渋谷や下北沢とは違う ・平日も人が集まる ・老人の方が利用する花だん等	3	

下線はシール投票の対象項目、【 】はシール投票数

大区分	班	上部空間等をどのような場所にしていきたいですか	その場所には、どのような機能が必要ですか	シール投票	
	3	つながり系(人)交流 <ul style="list-style-type: none"> ・会議室を兼ねた集会場 ・診療所、保健所 ・公園 ・地域住民の利用、利便性を優先する施設 ・外環道ができることによりもっとも犠牲となり貢献するのは地域住民であり、その対価を考えてほしい 	つながり系 [7] 子どもとのつながり (幅広い世代とのつながり)	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが自由に遊べる広場。周囲に樹木を植える ・地域住民の集会場(談話室、喫茶、遊戯室、会議室、展示物を兼ねる施設) ・多目的施設 ・遊び場 ・運動施設 ・木質を生かした建築(中は木の家具) 	7
	4	<u>区民の憩いの場</u> [1] <ul style="list-style-type: none"> ・区民の憩いの場(桜並木、梨園、いちご園、バーベキュー広場) ・野川沿いに遊歩道をつくる 	交流機能(自治会周辺住民)・憩いの場	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい広場 ・コミュニティ施設、防災倉庫、展示施設(歴史) ・古代から江戸、土器も出る、常設展示 ・喜多見上部自治会が利用できる自治会事務所と防災倉庫 ・コミュニティ、多目的施設(自治会交流)(料金所のふたかけ) [10] 	11
	4	人々のふれあう交流の場 <ul style="list-style-type: none"> ・バス停を作る(多摩堤通りから引き込む) 交通安全、人のふれあい ・多目的施設を上部空間のエリア内に建設 人々の交流を生む ・外環道整備による地域の断絶の観点から、地域コミュニティの場(防災等) 			
	5	交流できる場所 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、子どもにやさしいまち ・市民交流と地域貢献の場 ・高齢者社会を想定した老人と地域の子もたちとの交流の場 ・地区会館に不足している機能(若い人たちも集まれる場など) ・ワンルームマンションに住む若者の集まれる場所 ・コミュニティのある場所 	コミュニティ・交流機能	<ul style="list-style-type: none"> ・交流機能(施設が「壁」にならないような配慮が必要) [3] ・地域の子もや高齢者が交流できる機能 ・地域の人々が気軽に集まれる機能 ・若者を含めて地域の人々が幅広く利用できる機能 ・喜多見上部自治会の集会施設(現在の施設の利用が継続できない可能性がある) [6] 	9
	5	広域交流のある場所 <ul style="list-style-type: none"> ・都内でまれな道の駅を設け世田谷の緑を示したい ・若い人を呼び込みたい(たとえばマラソンをやる) ・地域の農家と連携したい 	道の駅の機能	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅 [4] 	4
高架下【3】	3	みどり、安全・安心	<u>安全・安心、クリーン</u> [2]	<ul style="list-style-type: none"> ・木質のぬくもりある施設 ・手の込んだクリーンな場所 ・高架下を清潔に个性的に ・無味乾燥で怖い場所をどう変えるか 	2
	5			<ul style="list-style-type: none"> ・学校の校庭が狭いので、何らかの利用を考える [1] 	1
防災系【24】	1	<u>防災、外環道災害対応が最も進んだ地域</u> [1]	地域の防災・外環道災害対応の機能 [2]	<ul style="list-style-type: none"> ・避難場所機能 [2] ・外環での災害に対する救急対応機能 ・一般道(多摩堤通り)と外環の出入り機能 ・防災備蓄、資材保管機能 [1] 	6
	2	野川の水害のための防災・災害時の拠点 <ul style="list-style-type: none"> ・災害時のための資材置き場としてほしい 【1】 ・世田谷区の防災拠点の一角にしたい 防災倉庫 ・太陽光発電パネルを並べる 		<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民のための防災拠点(小規模、地域住民が3日間避難可能) [7] ・樹林地に避難する [2] ・何も無い空間こそ防災 ・備蓄倉庫は欲しい ・野川の川底を下げる 	10

下線はシール投票の対象項目、【 】はシール投票数

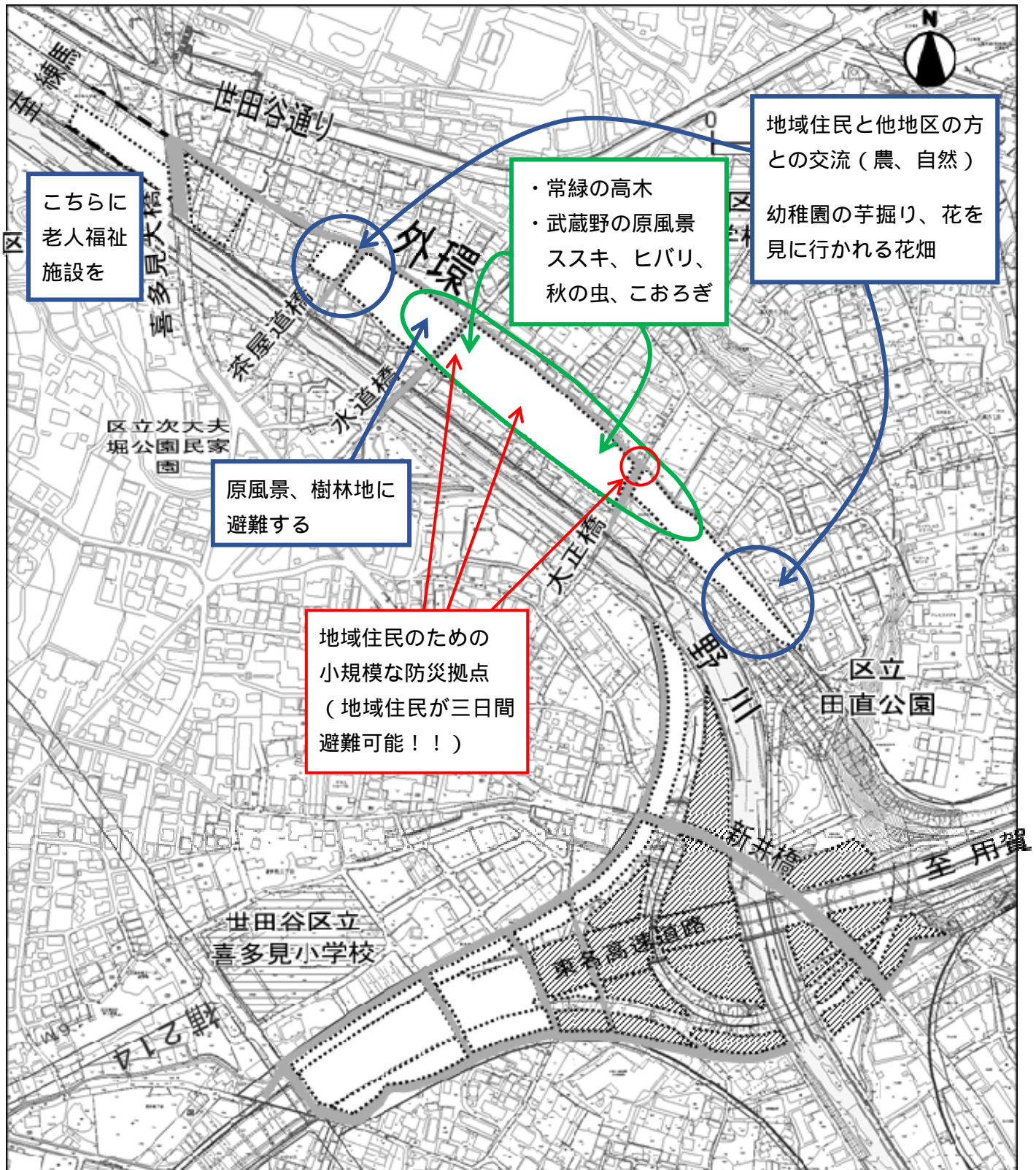
大区分	班	上部空間等をどのような場所にしていきたいですか		その場所には、どのような機能が必要ですか		シール投票
	3	みどり、安全・安心		防災	・(高架下に) 備蓄倉庫など	
	4	安全、安心なまち	・高齢者も暮らすまち ・野川の洪水からの安全性(調整池)	安心、安全なまち	・福祉系の場所は喜多見7丁目、野川、多摩堤通り沿いに ・検討区域をもっと広げては 北西方向 ・今回の検討範囲の周辺についても、区が土地を買収し公園等の緑地に ・調整池機能(広場) [4]	4
	5	防災	・安全な街づくり(防災) ・災害時に、自治会員の情報センターとなる場所	安全機能	・広い意味での安全機能(バリアフリー化など) ・災害時における様々な防災情報の集約・提供機能 ・防災情報提供センター [4]	4
福祉系 【14】	1	子どもから高齢者までが暮らしやすい地区		誰もが暮らしやすくなるような福祉機能 [4]	・福祉機能(障害者、子ども、高齢者など) ・福祉施設等があれば道路幅員等も考えないといけない	4
	2	交流			・喜多見大橋付近に老人福祉施設を [4]	4
	4	人々のふれあう交流の場		交流機能(自治会周辺住民)・憩いの場	・福祉系の施設(喜多見大橋付近、野川沿いの土地は区が買い取る) [3]	3
	5	交流できる場所		コミュニティ・交流機能	・福祉施設をつくるなら北の方にずらす [3]	3
交通系 【3】	1	人が道路に優先する地域 [1]		いろいろな手段で安全に通行できる機能	・交通安全機能 ・歩行者、自転車、乳母車、シニアカーが通行できる機能	1
	3	連携(空間)	・次大夫堀公園と一体になった施設や環境の整備が必要	交通・安全 ユニバーサルデザイン	・高齢者、幼児まで交通弱者が動く助けになる施策ができないか ・シニアカーの通行、自転車道 ・自転車置場 [2]	2
歴史系	3	みどり、安全・安心		歴史	・周辺(喜多見、大蔵、宇奈根)の歴史の保存と継承	
	5	歴史などを伝える場所	・喜多見の郷土や歴史の展示・発表		・郷土の歴史を展示する機能	
	2	前提	・外環道は、地元住民にとってはあくまで迷惑 ・上部空間等利用は、近隣住民の迷惑を軽減させるため、騒音や排気ガス、目障りなものを軽減させるためのもの ・誰の為に上部空間をつくるのか ・なぜ上部空間を利用するのか理由に整合させるもの			

下線はシール投票の対象項目、【 】はシール投票数

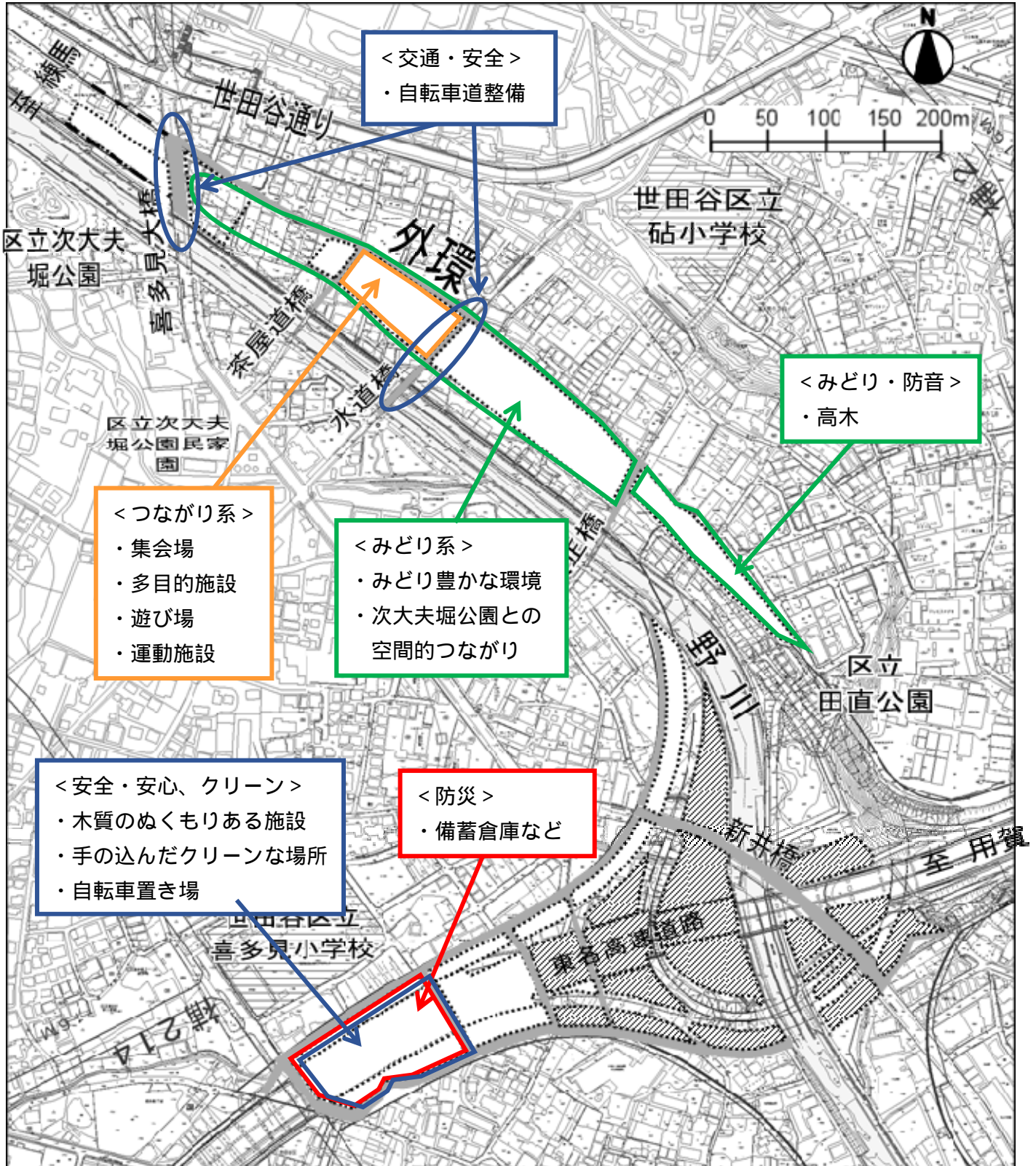
第2回ワークショップの意見まとめ（班別の配置図）

《 その機能は、どの箇所に配置しますか》

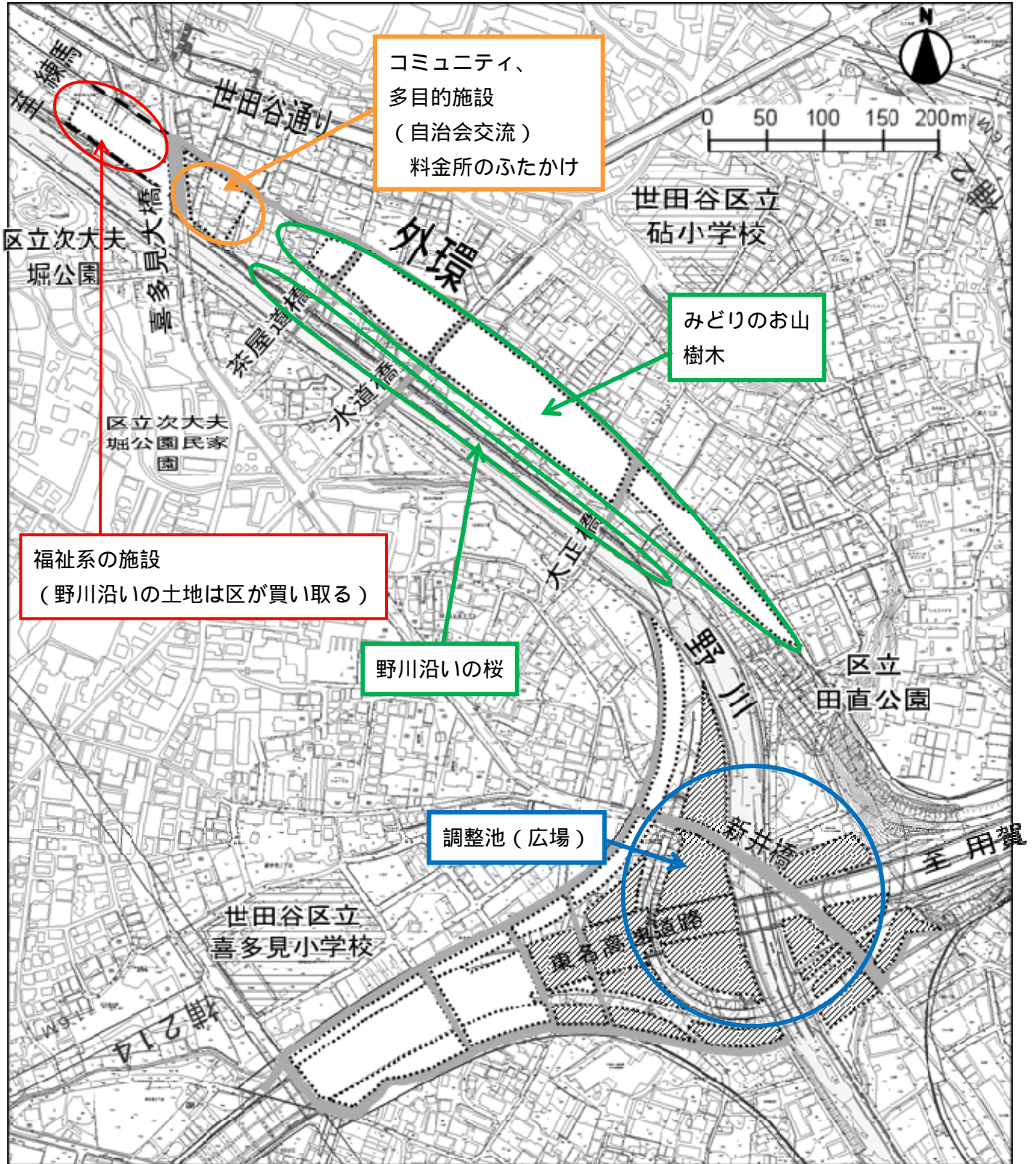
2班の配置図



3 班の配置図



4班の配置図



5 班の配置図

